

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

東海村村松 2401-2
oona_toukai@yahoo.co.jp
TEL・FAX 029-284-0761

ピアノソナタ「月光」による朗読劇「月光の夏」に感動

7月21日、朗読劇「月光の夏」を観て(聴いて)きました。劇団東演による上演で、ひたちなか市文化・スポーツ振興公社が主催したものです。

単なる朗読劇とは違い、ベートーベンのソナタ「月光」のピアノ演奏と<ドラマリーディング>がおりなす、新機軸のライブステージというものでした。想像が広がるだけでなく、臨場感いっぱいでの生演劇を見ているような感動をおぼえました。

4人の俳優さんが朗読したのですが、そのなかの1人は東海村出身の岸並万里子さんという方でした。終演後お会いしてお話しましたが、中学生の時まで長堀住宅にお住まいになっていたそうです。「東海村でも公演できるといいな!」と思いました。



岸並万里子

東海村出身、恵泉女学園短大 東演俳優養成所を経て91年劇団東演入団。169cmの体躯を活かしたダイナミックさのなかに緻密で重層的な台詞回しで、創立47年の伝統をもつ劇団の中核を担う女優。代表作に「月光の夏 挽歌」、「臨時病室」など。

今こそ、命の重さを次世代に伝えよう ——

生きたくても生きることが許されなかった青春!

【あらすじ】 佐賀県鳥栖市。戦後45年のこの年、鳥栖小学校の古いグランドピアノが廃棄されようとしていた。かつて教師をしていた吉岡公子は、そのピアノに忘れられない思い出を秘めていた。そしてピアノを平和の願いの証として保存しようと言う思いから全校集会で生徒たちにその思い出を語る…。

太平洋戦争末期の昭和20年初夏——。音楽を愛する学徒出身の特攻隊員二人が学校に駆けつけ、今生の別れにベートーベンのピアノソナタ「月光」を弾き、沖縄の空に出撃していった…。それから2ヵ月後、戦争は終わったが二人は帰ってこなかった。

公子は、鹿児島県知覧の特攻平和会館をはじめ訪れ、そこに掲げられた遺影のなかに、『月光』を弾いた青年の顔を発見するが……。